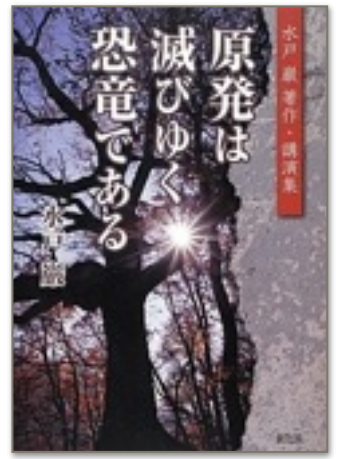


科学者にとって原発とは

～水戸巖の思い出を語らうタベ in Studio Citizen



チェルノブイリ原発事故から30年。

科学者を排除し科学を無視し続けてきた原子力開発に対し

専門家の立場から強く危険性を訴えてきた物理学者、**水戸巖**。

彼が不慮の死を遂げてから、やはり今年末で30年の時を数える。

本年3月放送のTBSドキュメンタリー「よみがえる科学者～水戸巖と3.11」でも紹介されたように、水戸の警告は福島で現実の悲劇となってしまった。

「自分にはどうなるか分かっていたのに止めることができなかった。私は科学者として皆様に謝罪しなければならない」と語る元京大原子炉実験所助教の**小出裕章**と、「水戸が生きていたらしたに違いないことを私はやる」と反原発運動の先頭に立つ夫人の**水戸喜世子**。

ふたりが語る水戸巖のエピソードを通じて、原発問題を今一度じっくり考える機会としたい。

水戸巖 (1933～1986)

2016年 **6月24日(金)**
19:00～開演



水戸喜世子 (1935～)



小出裕章 (1949～)

18:30～開場 1時間の対談と2時間の食事会 (フリードリンク付き)

会費 3,000円

会場 **Studio Citizen**



大阪府吹田市千里山東1-10-4

サンシャイン関大前3階

TEL.06-4860-6756

090-9875-7157(西岡)

阪急千里線「関大前駅」北改札から徒歩5分



トークイベント
動画・番組製作
レンタルスペース

internet TV talk event
Studio Citizen
市民ネットメディアスペース「スタジオ・シネマン」